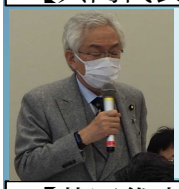
令和4年度　新しい国道1号バイパス建設促進議員連盟　総会

■日時　令和４年１２月２０日（火）　１３：３０～１４：００
■場所　衆議院第一議員会館　第２会議室
■次第　（１）開会　（２）共同代表挨拶　（３）来賓挨拶　（４）役員（案）について
（５）現況説明　（６）意見交換　（７）決議（案）について　（８）閉会
■出席者　議員連盟：【共同代表】西田議員、上野議員　【副代表】吉井議員、目片議員（県）
【幹事長】足立議員　【幹事長代理】こやり議員
【幹事】小寺議員、有村治子議員、藤田議員（栗東市）
【事務局長】武村議員
奥村議員（県）、川島議員（県）、有村國俊議員（県）、村上議員（県）
川瀬議員（草津市）、上田議員（栗東市）、中野議員（栗東市）、繁本前議員
来賓：国土交通省 道路局 沓掛企画課長、近畿地方整備局 水野道路部長、
中尾滋賀国道所長、岩本京都国道所長
期成同盟会 【会長】三日月滋賀県知事
【副会長】鈴木京都府副知事、坂越京都市副市長、佐藤大津市長

【共同代表挨拶】西田　昌司　参議院議員



滋賀・京都から知事や市長、地方議員など多くの方に来ていただき、1号バイパスに対する熱意に圧倒される思いである。現内閣は、財政拡大、予算拡大の方針を取っている。こうした中、我々は今後必要なインフラの中でも、 滋賀と京都を結ぶ大動脈であるこの１号線をしっかりと前に進めていく方向に機運を盛り上げていかなければならない。皆様のご協力をお願い申し上げる。

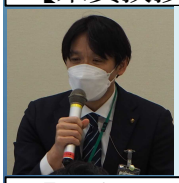
【共同代表挨拶】上野　賢一郎　衆議院議員

議連が発足して約５年経過するが、継続して熱心に参加いただいていることに感謝申し上げる。防衛費増額の流れの中で、公共事業の予算が削減されることは避けなければならない。引き続き、皆様と歩調を合わせてしっかり前に進められるように努力をしていきたいので、皆様にもそれぞれの立場でのご尽力をお願い申し上げる。

【来賓挨拶】　三日月　大造　滋賀県知事（期成同盟会会長）

今年５月に開催した期成同盟会の総会では、多くの皆様に参加いただき、このプロジェクトを前に進めていくことを改めて確認したところ。国道１号は、この10年間で５回も通行止めになっている。来年３月には文化庁が京都に移転する。京都と滋賀で日本の生産力や文化力を牽引していくためにも、この新しい１号は大変重要。本県としても、関係機関と一緒になって頑張ってまいる。

【来賓挨拶】　鈴木　貴典　京都府副知事（期成同盟会副会長代理）



この国道１号は、昨年８月に大雨で約５日間通行止めになっており、また、日常的に渋滞も発生している。京都の持続的な発展のためにも、この一大プロジェクトを具体化していく必要があると本府としても考えている。京都市、滋賀県、大津市とも連携して、このプロジェクトを具体化していきたいと考えているので、引き続き、ご支援をお願い申し上げる。

【来賓挨拶】　坂越　健一　京都市副市長（期成同盟会副会長代理）

来年３月に文化庁が京都に移転し、令和７年には関西万博が開催される。都市間の移動を円滑にするためにも、国道１号バイパスの早期完成が極めて重要。現在、計画段階評価着手に向けた調査を国で推進していただいているところであるが、一日も早く整備手法やルートの選定を進めていただくようお願いする。本市としても、関係自治体と一緒になって全力で取り組んでまいる。

【来賓挨拶】　佐藤　健司　大津市長（期成同盟会副会長）

国道１号は、生活に密着した重要な道路であると同時に、国の大道脈である。昨年８月の大雨による土砂流出では、国道１号が寸断し名神高速道路を代替路として無料開放していただいたが、インターチェンジに至るアクセス道路が渋滞して十分に機能せず、この新しい国道１号が必要であることを確信した。一歩前に進めるためにも、皆様のお力添えをお願い申し上げる。

令和4年度　新しい国道1号バイパス建設促進議員連盟　総会

【現況説明】国土交通省 道路局 沓掛企画課長、近畿地方整備局 水野道路部長

国道１号は、代替となる道路が少なく、今年８月には５日間の通行止めが発生するなど脆弱性が高い。また、山科区や瀬田川付近では渋滞も常態化している。京都府と大津市南部、湖南４市を発着する交通が６割あり、この交通をなんとかしなければならない。

令和３年４月に国土強靭化プログラムにおいて、「計画段階評価着手に向けた調査を推進」ということで決意表明させていただいた。これをしっかり守るべく調査を進めていきたい。

【意見交換】目片　信悟　滋賀県議会議員

国による国道１号栗東水口道路、県による山手幹線道路の開通後に、大津市南部に流入してくる車両が多くなるのではないかと不安を抱いているところ。この京都大津のバイパス計画が着実に進んでいくことを切にお願いする。また、皆様方と一致協力して、この事業が完成するように、ぜひともお力添えをいただきますことを切にお願い申し上げる。

【意見交換】奥村　芳正　滋賀県議会議員

国土交通省のお力をいただいて、山手幹線が開通できる見込みとなってきた。この先線は、我々がこれから一番要望していかなければならないところ。このバイパスの重要性を国のほうでしっかり判断していただいて、京都と滋賀が協力し事業に着手する。これが我々の一番の願い。渋滞対策は待ったなしで、災害に対して脆弱な区域であること、こういったことを少しでも解消できるように、国道１号バイパスの建設促進に向けて皆様と一致協力していきたい。先生方、国土交通省の皆様、よろしくお願い申し上げる。

【意見交換】川瀬　善行　草津市議会議員

産業の話があったが、観光と景観、この二つが京都市と結びつくと滋賀県の活性化に非常に貢献できるのではないかと考えている。以前、滋賀県知事のお話の中で、滋賀県の南の玄関口だというご発言があった。京都、滋賀を結ぶ観光の動線としても貴重な道路になってほしいと思っている。

【意見交換】藤田　啓仁　栗東市議会議員

栗東市では、国により国道８号野洲栗東バイパスと国道１号栗東水口道路の整備を進めていただいているが、今現在、夕方はほとんど車が動かないような渋滞が発生している。両事業が完成すると、栗東市内の渋滞は緩和されるが、その渋滞は、大津のほうへ移っていくと予想している。この国道１号バイパスを早期に着工していただければ、滋賀、京都の流れが劇的に改善するのではないか。両府県の経済活動が大いに活性化されるのではないかと思っている。一日も早い着工を目指して頑張っていきたい。

【意見交換】繁本　護　前衆議院議員

この国道１号バイパスには強い思い入れがあり、どうしても馳せ参じたいと本日参った。皆さんと一つになり、実現に向けて尽力したい。また、計画段階評価に一日も早く進めていただけたらと思う。

有料か無料化という事業方式をどうするのかという点について確認させていただきたい。

【意見交換】国土交通省 近畿地方整備局 水野道路部長

事業方式については、どこにルートを通すのかということで変わってくる。事業方式の前に、ルート構造を決めなくてはならないので、それを優先して検討していきたいと考えている。

新しい国道１号バイパス建設促進議員連盟　決議申入れ
滋賀･京都間の新しい国道１号バイパス建設促進期成同盟会　中央要望

実　施　日：令和４年１２月２０日（火）
（議員連盟と期成同盟会との合同実施）
議 員 連 盟：上野議員、大岡議員、吉井議員、目片議員（県）
武村議員、村上議員（県）、川瀬議員（草津市）
同　盟　会：滋賀県知事、京都府副知事、京都市副市長、大津市長（財務省面談は清水副市長）

【申入れ･要望事項】
滋賀･京都間の国道１号に関する道路調査を強力に推進し、
バイパス建設に向けた計画を早期に策定すること

国土交通省

古川（ふるかわ）　政務官

【コメント】
行政と議員の皆様が力を合わせられ、前に進めてほしいと声を上げておられることは、以前から承知している。我々、国土交通省としても、この区間（国道１号滋賀・京都間）は何とかしなければならないと認識している。災害時にも大きな影響が生じており、シングルナンバーの道路にふさわしい整備をしておかなければならない。
非常に大きな事業なので、整備手法などをしっかり検討し、地元自治体と話をしていく必要がある。今回の申入れ・要望を受け止めて、一日も早く前に進められるようしっかり取り組んでいく。

財務省

八幡（はば）　主計局総務課長、坂本（さかもと）　主計局主計官

【コメント】
地域の生の声をお聞かせいただき、大変ありがたい。現在、当初予算に加え補正予算も活用しながら、各地域で道路整備が進められているところ。今回要望いただいた新しい国道１号についても、現場の状況をよく把握して、国土交通省としっかり話をしていきたい。